

「芝浦工業大学 学生プロジェクト」活動報告（6月15日・16日）

6月15日と16日に芝浦工業大学の学生プロジェクトのメンバー10人と筑波大学学生4人が勿来地区のビーチクリーンと巣箱作りを行いました。

当支部からは、樋口支部長(写真左)といわき市在住の高木会員(写真右)が見学しました。案内は、3年生の川名彩雲(かわなあみ)さん(写真右2人目)と2年生の鉾建温人(ほこたてはると)さん(写真左2人目)の二人です。

写真中央はNPO法人理事長の舘様です。

案内の2人の学生に聞いたお話を参考にして以下の活動報告をまとめました。



なっくる玄関前

1. 学生代表と校友会福島支部代表の挨拶と状況説明

- (1) 相互自己紹介
- (2) 校友会福島支部と学生プロジェクト関わりについて確認
- (3) 今年度の学生プロジェクト活動について説明
- (4) 福島支部として学生プロジェクトに対する支援についての報告

2. 全体活動（NPO法人主催）

(1) ビーチクリーン

6月15日(土)午後・16日(日)午前 3時間のビーチクリーンを実施しました。

この活動は、海岸の清掃を目的としており、参加者は、学生14人（芝浦工業大学学生プロジェクト10人と筑波大学の学生4人）とNPO法人勿来まちづくりサポートセンターのメンバーです。対象ビーチは、岩間海岸と勿来海水浴場でした。

作業は、海岸にあるごみを回収してきれいな海岸にするわけですが、ごみの量は、多い日もあれば、少ない日もあります。海岸がきれいになると気持ちが良いものです。

昨年度は、環境問題に関する看板を2枚制作し設置しました。今年度の予定は以下の通りです。

- ・ 5月から12月までの8か月間。毎月2日間、土曜日午後と日曜日午前に実施。
- ・ 今年度は、勿来海水浴場6回、綿須賀海岸4回、岩間海岸6回の清掃活動を予定。

(2) こもれびの森制作ワークショップ

今回の作業は、巣箱作りです。この巣箱作りは7月も別な家族が実施します。8月には子供トレイルを行い、その時、制作した巣箱を森の中に設置します。

今回は、小学生とその保護者が参加し、巣箱作りに取り組みました。このワークショップでは、株式会社呉羽OB松の実会様が、のこぎりや金づちの使い方指導に当たり、学生たちは子供たちの様子を見ながら、声をかけ、安全作業に気を配っていました。

当日は天気が良く、参加者は汗をかきながら一生懸命、のこぎりを使い、材料を切り巣箱作りを行っていました。

8月の子供トレイルでは、森の植物観察や野鳥観察など、自然に触れる内容を体験します。

子供たちは、大人に助けをもらいながら、制作し



巣箱作り 1

た巣箱を森の中に設置し、野鳥がその巣箱で、子育てする様子を想像して優しい気持ちになることでしょう。

今回と同じ内容を9月から12月にかけても実施する予定です。

- ・ スケジュール

5月：参加者募集

6月第1回巣箱作りワークショップ

7月第2回巣箱作りワークショップ

8月第1回子供トレイル

(巣箱設置＋自然体験)



巣箱作り2

(以上の内容を9月から12月にも実施)

3. 班毎の活動（学生主催）

学生プロジェクトが主催し、活動する班は5つあります。農業班 15人、植田商店会班 15人、環境班 12人、防災班 16人、中山間地集落班(田人班) 16人^{※1}

※1 集落復興支援事業（県の助成2年間、場合により3年目や4年目も有）

今年度班活動内容

【防災班】

晴美埠頭公園にて3.11を経験していない子供向け防災イベントを開催する予定。（9月、10月予定）

内容： 防災を学びながら身体を動かしてもらう防災運動会

【集落班】

いわき市田人地区の地域活性化と関係人口増加に貢献するべく、親子を対象とした地域イベントを秋ごろに開催予定。（福島県の委託事業である「大学生の力を活用した集落復興支援事業」）

【植田班】

今年度目標は、植田商店街活性化に向けた企画を完成させること。当該商店街に最適な企画を作成する為に、システム工学の考え方を使い、8月頃現地調査の予定。

【環境班】

班の目標は、環境問題に平面的な知識だけでなく、実践的で体験的な活動によって人々の環境問題への意識を変えることである。

具体的活動は、9月15日に勿来で「海ごみ」についてのアクティブな環境イベントを開催。10月12日・14日に四日市大学と対馬に行き、環境問題についての知識を深める予定。

【農業班】

食育を通じて将来の職業の選択肢に農業をいれてもらうことを目的とし、小学生を対象に1泊2日もしくは1日のイベントを、秋から冬にかけて2回開催予定。